
編集後記

技報の発刊には、推薦論文の依頼、論文の選定、論文の執筆、査読、編集、校正、印刷等、1年近い日数を要します。

採用論文も、技報の主旨を尊重し、公団特有のテーマを中心に技術的要素が高く、対外的にも、技術PRに意義深いものを優先させていただきましたが、今回で7号となり、公団技術の蓄積がワン・ステップあがりましたことを皆様とともに喜びたいと思います。

論文執筆者の方々には、日常業務で多忙にもかかわらず原稿の執筆に協力いただきありがとうございました。昨今の情報の過多な時代には、情報にふりまわされ自分で考えることを忘れがちですが、自から筆をすすめることで別の意味のひとときがあったことと思います。

最後になりましたが、巻頭言を執筆していただいた大西理事、編集委員長の松橋審議役をはじめとして御協力いただきました関係各位の方々に深く感謝いたします。

(松本雅治記)
